

自家保険 (貯蓄・投資)

メリット

- ・すぐに引き出すことができる
- ・計画を変更しやすい
- ・元本割れしない
- ・利息がつく

デメリット

- ・生命保険等の別な保障が必要
- ・自己管理をしなければならぬ

貯蓄型 貯める方法

- 定期積金・積立貯金
- 子供名義の口座に入金

投資型

- 公社債投信
- 株式型投資信託 etc

オススメの貯め方

職場に制度があれば、財形貯蓄で教育資金を用意するのもいいですね。給与からの天引きで貯められるので、確実に貯められます。申込や解約の時期も限られ手続きもあるので、使い込みをしにくい点でも◎。

学資保険 (子ども保険)

メリット

- ・一定期間終了後、満期保険金が受け取れる
- ・万が一の場合には以降の保険料支払いが免除される

デメリット

- ・元本割れをする可能性がある
- ・特約の保障部分が、他の保険と重複している場合がある

学資保険に加入… ここをチェック!

- ① 加入済み生命保険の内容と重複がないか
- ② 元本割れをしていないか
- ③ 必要な金額を貯められるかどうか
- ④ 家計に無理のない保険料を設定する

養老保険や終身保険のほうが内容が良ければ、そちらを活用してOK。途中解約すれば良いタイミングで使えます

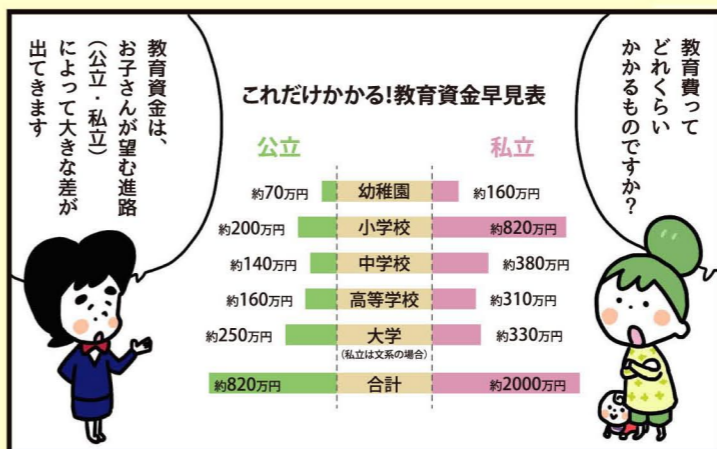
頭をやわらかく！
他の貯蓄型保険と比較してみてください！

我が家に合った方法で準備すればいいんですね！



どうする!? 教育資金

FP (ファイナンシャル・プランナー)
ひさえさんに学ぼう



教育資金準備の基本は積立！
下の式から毎月の積立額を計算してみましょう

毎月コツコツ決まった金額を崩さず貯め続けるのが成功の秘訣ですよ

毎月の積立額 = 目標額 ÷ 貯める年数 ÷ 12 (か月)

進路がはっきりしないうちは、金額の大きい私立大学進学を目指して目標金額を設定しましょう。

その際、漠然と考えるのではなく教育資金のどの部分を明確にするのか目的を明確にしましょう。兄弟がいる場合は、それぞれ別に用意するといいですね

やっぱりまとまった金額が必要なんです

受験費用
毎年の授業料
アパートの敷金

私立大学初年度準備コース 300万円

安心余裕コース 500万円

オススメ

監修・取材協力
ファイナンシャル・プランナー
中村久枝さん
(相談室「緑小屋」代表)

50歳でファイナンシャル・プランナー資格を取得。主婦として女性としての目線で、気軽に相談にのれる場所の必要性を感じ、「相談室」を開設。20年間の経理経験、ファイナンシャル・プランナーの知識を生かし、セミナー・個人相談に応じしている。



生前贈与を活用しよう!!

贈与金の合計が110万円/年以内の場合は贈与税がかかりません。また、2015年12月末までは、祖父母から30歳未満の子や孫への教育資金一括贈与を受けた場合、最大で1,500万円が非課税になります。詳しくは専門家に確認しましょう！



そして意外と忘れがちなのが…

「生活費」。

大学に通うための練習も兼ねて高校時代から用意を始めると◎

毎月生活費の1/3 貯

毎月生活費の2/3 送金

奨学金など 返済

練習 本番 後片付け

高校 3年 大学 4年 就職 3年

START GOAL!

10年プランでらくらく対応
奨学金は言わば借金！返済プランも考えましょう。